

学会ニュース

目次

・ 2023年度の学会費納入について	1
・ 第45回大会について	1
・ 大会プログラムおよびZoomミーティングについて	1
・ 大会における託児所・ベビーシッターの利用について	2
・ 事務局体制の変更計画について	2
・ 事務局より	2

2023年度学会費納入について

日本18世紀学会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日です。例年であればこのタイミングで会費納入をお願いするところですが、今年度は事務局体制の大幅な変更を見込んでおり、新体制が軌道に乗る秋頃まで会費の納入を見合わせていただきますようお願い申し上げます。ただし、すでにお支払いいただいた場合も支障は生じません。納入記録は事務局で把握しておりますので、その点をご安心ください。

詳しい説明は、このあとの「事務局体制の変更計画について」で行います。

第45回大会について

日本18世紀学会第45回大会は、2023年6月17日(土)と18日(日)に東京大学本郷キャンパスで開催します。4年ぶりの対面形式となります。ふるってご参加ください。

このたびの共通論題は「18世紀の西洋舞台芸術における人種・身体・血」で、コーディネーターは大崎さやの会員です。学会企画として、『啓蒙思想の百科事典』刊行記念の座談会を行います。また、開催校企画として、マリア・ピア・ドナート教授による「アーカイブの革命—革命期及びナポレオン帝政期ヨーロッパにおける歴史・記憶と政治的アイデンティティ—」という講演を実施します(フランス語、通訳あり)。

一部のプログラム(学会企画、開催校企画、共通論題)についてはZoomで同時配信しますが、自由論題は対面形式のみの実施とします。レクチャーコンサートは行いません。

大会プログラムおよびZoomミーティングについて

当日の大会プログラム(タイムテーブル)は同封の別紙の通りです。ZoomミーティングのURL等については、第三者との無断共有は御遠慮ください。

レジュメ集は学会ウェブサイト(URLは最終ページに記されています)に掲載します。パスワードの設定はありませんが、コンテンツにはセキュリティー上のいくつかの制限をかけています。

大会における託児所・ベビーシッターの利用について

当学会では、子育て中の会員も大会に参加しやすいように、託児サービスの補助を行います。会場校に託児スペースを用意することはできませんが、会員が個人で手配して託児所・保育所・ベビーシッター等を利用される場合に、学会が保育費の半額を負担いたします。利用された方は、学会終了後に領収書を事務局までお送りください。後日、学会負担分をお振込みいたします。

事務局体制の変更計画について

大学を取り巻く環境は大きく変わっており、事務局を預かる役員が自分の研究室に所属する大学院生の協力を得て業務をこなすというやり方では、もはや対応できません。学会運営を円滑に行うためには、省力化が欠かせません。その方策として、学会ウェブサイトの機能を強化し、会員情報管理をウェブ上で行えるように変更する計画を立てています。

具体的には、学会サイトに「マイページ」を作成し、各会員が自分の情報（連絡先や所属先）を更新できるようにするとともに、会費納入状況を確認できるようにします。会費請求についても、新サイトの機能を用いて、登録済みのメールアドレスに向けて納入額を通知する仕組みを考えています。最初の通知は2023年秋を見込んでいます。その際に2023年度分が未納である方がシステム上は好都合なので、「2023年度学会費納入について」で記したように、会費の納入を見合わせていただけると幸いです。

この変更計画については、大会二日目の昼に行われる総会で諮ります。

新サイトの準備が整いましたら、事務局から各会員に向けて詳しい案内を送ります。会員の皆様におかれましては、有効なメールアドレスをご登録ください。メールアドレスの登録がない場合は「マイページ」をご利用いただけませんが、住所のご登録があれば学会からの連絡はいたします。



事務局より

メールアドレスご登録のお願いとメーリングリストのご案内

日本18世紀学会では、会員の皆様のメールアドレス登録を進めています。それに基づくメーリングリストを介して、学会や研究会のお知らせなどをメールによって会員の方々に迅速にお知らせすることができています。さまざまな案内にメーリングリストを利用します。メールアドレスをまだ登録されていない方や、アドレスに変更のある方は、事務局までご一報ください。

また、日本18世紀学会の全会員は同時に国際18世紀学会に所属するため、日本18世紀学会に登録されたメールアドレスは同時に国際学会にも登録されます。国際学会へのメールアドレス登録を希望されない会員は、お手数ですが事務局まで個別にお申し出ください。

国際学会にメールアドレスが登録されると、国際学会からの重要な連絡を直接受け取ることができます。この登録にともない、各会員にはIDとパスワードが送られます。これを用いると、国際18世紀学会のサイトISECS-directに登録される会員情報にアクセスし、それを修正することができます。

(基本的に個人情報は非公開となっておりますので、希望する会員のみ、ISECS-direct上で「公開」を選択していただくこととなります。) 数年おきの国際学会の役員選挙の際も、このIDとパスワードがあれば、郵送によってではなく、インターネットを通して投票することができます。

国際学会のメール登録一般と個人情報の公開の可否について不明なところがある場合は、日本18世紀学会事務局 (jsecs18@gmail.com) もしくは直接に国際学会ウェブサイト担当者 (Nelson Guilbert氏 :

admin@isecs.org) に問い合わせてください。

国際18世紀学会の役員選挙について

今年春に実施された国際18世紀学会の役員選挙において、日本18世紀学会所属の隠岐さや香会員が副事務局長（Assistant Secretary General）に選出されました。非ヨーロッパ地域の研究者の声が国際18世紀学会の場に届けられるのは、大変喜ばしいことです。投票して下さった皆様に御礼申し上げます。隠岐会員にとっては、ご多忙のところさらにご負担がかかりますが、国際連携を深めるためにご尽力のほどよろしくお願い申し上げます。

『年報』への論文投稿について

大会での発表をもとにしたもの以外の論文も投稿できます。詳しくは年報または学会ウェブサイト記載の投稿規程をご覧ください。

投書欄について

この「学会ニュース」に投書をしていただくこともできます。事務局までお申込み下さい。

共通論題のテーマ、および書評対象図書

会員からの提案を随時受け付けています。事務局または担当幹事まで。（ただし、共通論題のテーマ決定に際しては開催校の希望が優先されるので、必ずしもすぐにご提案が実現するとは限りませんが、事務局から開催校や幹事会に伝達します。）

当学会は学際的な学会であるため、会員の研究が広範囲に及び、担当幹事だけでは各分野の重要文献の情報を集めるのが困難です。書評で取り上げるに値すると思われる図書がある場合、事務局までお知らせください。（特にご自分の専門分野が当学会で十分に扱われていないと思われる方は、積極的にご推薦ください。）

学会ニュースのエッセー

今のところ、事務局から執筆をお願いしていますが、会員の皆さんからの希望も受け付けています。執筆を希望される方は事務局までお知らせください。

寄付のお願い

寄付を希望される方は、「寄付金」と明記のうえ年会費と同じ郵便振替口座に振り込んでください。

献本

学会宛に以下の図書をいただきました。お礼申し上げます。

- ・ 小俣ラポー日登美『殉教の日本——近世ヨーロッパにおける宣教のレトリック』（名古屋大学出版会、2023年2月）
- ・ 荒井宏祐『よみがえる教育 自然界教育——ルソーの自然界思想と自然界教育を軸に』（三省堂／創英社、2023年1月）

新入会員の方へ

毎年6月の幹事会で入会を承認された方はその年度からの会員となります。6月の幹事会以降に入会を申し込まれた方は12月の幹事会で承認され次年度からの会員扱いになりますので、会費の請求はありませんが、他の会員同様に諸種の配布物をお届けいたします。

新会員の勧誘のお願い

ぜひ18世紀研究に関心のある方を本会にご勧誘ください。入会申込用紙は、現在のところ、日本18世紀学会ウェブサイトからダウンロードできます。新しい学会ウェブサイトには、専用の申込フォームを設ける予定です。

幹事会メンバー（50音順）：出羽尚（年報編集）、岩佐愛（ウェブ／広報）、王寺賢太（大会）、大石和欣（大会）、隠岐さや香（国際執行委員会派遣委員）、金沢文緒（ウェブ／広報）、川島慶子（ダイバーシティー）、川村文重（年報編集）、小関武史（事務局長、会計）、後藤正英（年報編集）、武田将明（年報編集）、玉田敦子（国際執行委員会幹事）、鳥山祐介（年報編集）、逸見龍生（代表幹事）

会計監査：井関麻帆、奥香織

事務局委員：飯田賢穂、高橋駿仁、淵田仁

日本18世紀学会ニュース 第100号 2023年5月発行

発行者 日本18世紀学会 代表者 逸見龍生

事務局 〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学大学院言語社会研究科 小関武史研究室 日本18世紀学会事務局

e-mail: jsecs18@gmail.com

tel: 042-580-9035

<https://www.jsecs.jp/>